

議会だより第32号

平成24年度

各会計決算を認定

第3回定例議会が8月27日から9月20日までの25日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された平成24年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか13議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、認定されました。

このほか、最終日に発議案3件が提出され、審議の結果可決されました。

主な議決内容

- 工事請負契約（いすみ市立太東小学校校舎棟耐震補強・老朽改修工事）について、新日本建設株式会社と契約することが可決されました。
- 備品の取得（消防ポンプ自動車2台）について、日本機械工業株式会社と契約することが可決されました。
- 子ども・子育て支援を総合的に推進するため、いすみ市子ども・子育て会議条例が制定されました。

平成25年第3回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市子ども・子育て会議条例の制定について	可決
議案第2号	いすみ市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	平成25年度いすみ市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第4号	平成25年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第5号	平成25年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第6号	平成25年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	平成25年度いすみ市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第8号	平成24年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第9号	平成24年度いすみ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第10号	平成24年度いすみ市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第11号	平成24年度いすみ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第12号	平成24年度いすみ市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第13号	工事請負契約について（いすみ市立太東小学校校舎棟耐震補強・老朽改修工事）	可決
議案第14号	備品の取得について（消防ポンプ自動車）	可決
報告第1号	専決処分の報告について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成24年度健全化判断比率について	報告
報告第3号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成24年度資金不足比率について	報告
発議第1号	地方税財源の充実確保を求める意見書について	可決
発議第2号	発言取り消し申し出について	可決
発議第3号	議員の派遣について	可決

決算 審査 報告

平成24年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、8名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、9月10日、11日の2日間にわたり委員会審査を行いました。

各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑が行われました。

なお、特別委員会では全ての決算が認定され、9月20日の定例議会最終日に、委員長が審査内容と結果を報告し、全ての決算議案が認定されました。

また、今後の行財政運営に反映させるよう検討されるべく、市当局に対し次の事項を委員会より指摘・要望しました。

1. 市内バス・デマンド交通運行事業について、事業は実施すべきであると考え、将来的に収支状況は大変厳しいと思われる。今後、運営の効率化策等について積極的に検討が進められるよう要望する。
2. 地域防災対策事業について、市の防災計画に基づいた備蓄物資の整備が計画的に行われると共に、市における備蓄物資の充足率の周知、また各家庭での食料品等備蓄を促す啓発が図られるよう要望する。
3. 補助金について、事業の成果・実績を十分に検証し補助金が既得権化とならぬよう補助団体の自立促進について指導すると共に、健全な財政運営への取り組みの面からも補助金の適正化に努められたい。また、今後の財政状況を踏まえた上で、減額を含めた見直しも必要であると思われるので十分検討されたい。
4. 契約について、透明性及び公平性の確保を図る観点から、入札方法の見直しを協議・検討すると共に、随

意契約については関係法令の趣旨を十分に踏まえ適正な運用が図られるよう要望する。

5. 歳入確保の点から、公債権及び市営住宅使用料、奨学資金貸付金など私債権の滞納事務について、公正かつ公平な市民負担の確保と債権管理の適正化、健全な行財政運営を行うためにも、債権の取り扱いについて徴収の一元化など統一的な処理基準が定められないか検討されたい。



▲決算審査特別委員会の様子

決算審査特別委員会

委員長	渡辺 敏男
副委員長	元吉 基
委員	山口 朋子
	高森 和久
	田井 秀明
	横山 正樹
	中村 松洋
	高梨 庸市

Q&A 一般質問 市政をきく

第3回定例議会の一般質問は、8月29日に6名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第3回定例議会の会議録は12月上旬に公開を予定しています。)

岩井 豊重 議員	公契約条例の制定／いすみ市まちづくり市民提案事業／自然と共生する魅力的な地域づくり／自然エネルギー利活用の具体化
高森 和久 議員	市長の政治姿勢／胃がん予防対策／市道の舗装計画
山口 朋子 議員	猛暑、熱中症対策／救急医療情報キットの配布対象者の拡大／使用済小型電子機器等の再資源化への取り組み
荒井 正 議員	福祉の充実／高校統廃合問題／国保財政の健全化
中村 松洋 議員	いすみ市第一次総合計画後期基本計画の遂行
田井 秀明 議員	発達に支援が必要な子ども達への支援／天然ガス採取と地盤沈下／小型家電リサイクル法／人口減少の進むまちづくりにおける目標設定



公契約条例の制定

岩井豊重議員

答
先進市の例を
参考に検討する

岩井議員 公契約条例の制定
について、どのように考
えるか伺いたい。

市長 公契約条例は、公共
事業の現場で働く労働者に
対して、賃金の最低基準額
を保障するという考えのも
と、働く者に対する適正な
労働条件の確保を目的に制
定するものであり、野田市
が平成21年9月に全国初の
公契約条例を制定し、その
後、川崎市、多摩市、相模
原市など7自治体で条例を
制定し、運用しています。
労働者の賃金や労働条件
の改善は、公共サービスの
質の確保、さらには地域経
済の活性化、地域再生にも
つながることから、市とし
ては、先進地事例の調査や
研究を行うとともに、公契
約条例は契約後の賃金問題
などに対して効果があると



市長の政治姿勢

高森和久議員

答
課題に道筋を
つけた

考えますので、今後、先進
市の例を参考に検討してい
きたいと考えています。

高森議員 本年12月で市長2
期目の任期を迎えるが、各
種施策や課題実現のため、
3期目を目指す考えを伺い
たい。

市長 市は合併時と比較する
と少しずつですが、他市町
よりも行政水準が向上し、
また、財政も徐々に安定し
てきましたが、市政をもつ
とよくするためには、多く
の課題が山積しています。
将来のために今やるべき
ことは、地震津波対策、少
子化・人口減対策としての
子育て、移住対策、国道
465号荻谷新田野バイパ
スの早期着工、子供の学力・
体力の向上、地場産業の振
興、いすみ医療センターの
診療体制の充実、広域ごみ

処理施設の早期完成、行財
政改革と財政の安定などが
喫緊の課題です。
また、将来のために今

始めなければならないこと
は、古い社会の来る前に
高齢者が安心して暮らせる
医療・看護・介護の仕組み
づくり、農産物や海産物の
ブランド化を進め、人もコ
ウノトリも住めるいすみ市
をつくり、新たな観光、新
たな特産品をつくり出すと
ともに環境型企業の誘致を
進めるための取り組みなど
があります。

これらを実行するため、
市民の皆さんのご理解をい
ただければ、今やるべき課
題の解決と将来の課題に道
筋をつけさせていただきた
いと思います。



猛暑、熱中症対策

山口朋子議員

答
ミストシャワー導
入に向けて検討する

山口議員 小・中学校の全
普通教室にエアコンを設

置する考えはないか再度
伺いたい。また、ミスト
シャワーを導入する考え
はないか。

教育長 普通教室へのエア
コン設置ですが、児童・生
徒の熱中症対策として必要
な措置と考えていますが、
夏場の電力需要の問題や多
額の設置費用が必要である
ため、今後、消費電力の少
ない扇風機の導入やグリー
ンカーテンの有効活用とあ
わせて、近隣市町村の動向
や財政状況等を見ながら検
討していきたいと考えてい
ます。

また、ミストシャワー
の導入については、千葉
市で各小・中学校に設置、
野田市をはじめ一部試験
的に導入している市町村
もあり、比較的少ない経
費で設置でき、熱中症対
策として効果の期待され
る製品もありますので、
設置場所や方式、効果な
ど、実践例を参考にしな
がら、児童・生徒の安全
対策の上からも、導入に
向けて具体的に検討して
いきたいと考えています。



福祉の充実

荒井正議員

答
障害福祉事業の
向上を図る

荒井議員 障害者総合支援
法の成立により、平成27
年3月末までにすべての
障害福祉サービス利用者
にサービス等利用計画書
が必要となったが準備は
どうか伺いたい。

福祉課長 平成24年4月よ
り障害福祉サービス支給
決定プロセスの見直しに
より、障害福祉サービス
等の申請に係る支給決定
前にサービス等利用計画
案を作成し、支給決定後
にサービス事業者等との
連絡調整を行うとともに、
サービス等利用計画の作
成を行うことになってい
ます。

これまでの、サービス
利用計画を作成せず、保
護者がサービス事業者に
直接依頼し、サービスの
利用支給決定をしていま

したが、サービス利用計画作成により保護者は、サービスの内容・支給量の相談が随時可能となり、市の支給決定も明確化することができま

す。今後、障害者等からの相談を受け、必要な情報及び助言、指定特定相談支援事業者等関係機関との連携を密にし、障害者一人ひとりの状況に応じて必要な支援及びサービスを提供していくことで、障害福祉事業の向上を図っていきたく思います。



い す み 市 第 二 次 総 合 計 画 後 期 基 本 計 画 の 遂 行
中村松洋議員

答
後期基本計画の
遂行に努力したい

中村議員 12月に任期を迎えるが、いすみ市第一次総合計画後期基本計画の実現に向けて市長の考えを伺いたい。

市長 合併後、いすみ市第一次総合計画を策定しま

した。10年間を見通し各種の政策課題の解決に取り組むこととし、前期、後期の5年の計画で実施しているところです。

平成25年度から後期基本計画を開始しましたが、この計画は、市民生活の向上のために大切な計画です。各種の政策課題を分類すると、今やらなければならないことや、将来のために今始めなければならぬことなどがあ

ります。これらの課題の解決のため、市民の皆さんのご理解をいただければ、後期基本計画の遂行に努力させていただきますと思います。



発 達 に 支 援 が 必 要 な 子 ども 達 へ の 支 援
田井秀明議員

答
スキルアップを
図っている

田井議員 発達に支援が必要な子ども達への支援について、どのような認識

を持ち、どのような支援を行っているか伺いたい。

学校教育課長 現在、市内小・中学校の普通学級における発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の割合は、全国平均の6.5パーセントとほぼ同様

です。市では、発達障害のある子ども達の支援を、市の施策の中で重要な課題と位置づけ、早期発見、早期支援を行うため、乳幼児健康診査の結果、こ

とばや情緒面の発達に遅れのあるお子さんに対し、臨床心理士や言語聴覚士などの協力を得て、乳幼児発達相談を開催するとともに、今年度から開講した療育指導教室「こあらくらぶ」に保育士を参加させ、スキルアップを図っています。

研修会への参加を積極的に進めています。

「地方税財源の充実確保を求める意見書」を可決

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠であるため、国においては、地方交付税の増額による一般財源総額の確保、地方税源の充実確保が実現されるよう市議会として関係行政庁へ意見書を提出しました。

市政を知るために
議会を傍聴しませんか

第4回定例議会日程(予定)

11月6日(水)10時 開会

議案の上程

8日(金)10時 一般質問

12日(火)10時 議案質疑

13日(水)9時 委員会

14日(木)9時 委員会

21日(木)10時 委員長報告

議案審議

閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されています。市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受付をお願いたします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

編集 議会だより編集委員会

☎0470-6211406

ホームページアドレス

http://www.city.isumi.lg.jp/

メールアドレス

gikai@city.isumi.lg.jp

